



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 株式会社アドバンテスト

上場取引所 東

コード番号 6857

URL <http://www.advantest.com/JP/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	79,251	△18.5	△34,404	—	△34,321	—	△34,148	—
25年3月期第3四半期	97,186	2.1	824	—	108	—	△1,917	—

(注) 四半期包括利益 26年3月期第3四半期 △18,893百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 5,458百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△196.12	△196.12
25年3月期第3四半期	△11.05	△11.05

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	203,298	120,231	120,231	59.1
25年3月期	225,515	141,241	141,241	62.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△17.2	△36,000	—	△35,900	—	△35,900	—	△206.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	199,566,770 株	25年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	25,368,364 株	25年3月期	25,773,688 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	174,113,609 株	25年3月期3Q	173,382,196 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11

〈添付資料〉

2013 年度第 3 四半期 決算（連結）の概要	P. 13
--------------------------	-------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年12月31日)の状況 (単位: 億円)

	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	959	883	△7.8%
売上高	972	793	△18.5%
営業利益	8	△344	—
税引前四半期純利益	1	△343	—
四半期純利益	△19	△341	—

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本では景気回復が続き、米国でも底堅い民需に支えられ緩やかな回復が続きました。一方で、欧州経済は一部の国を除き低調であり、また、中国などの新興国諸国でも経済成長の減速が見られるなど、全体としては当初の期待よりも低い成長率で推移しました。

半導体関連市場においては、引き締まった需給が続いたメモリ半導体で、半導体メーカー各社の設備投資回復の動きが進みました。また複数の大手半導体メーカーで次世代のロジック半導体製造が計画されるなど、半導体製造装置市場の事業環境は、先端技術投資を中心に、総じて改善傾向にあります。しかしながら最終製品の動向を概観すると、パソコン市場は2年連続でのマイナス成長となったと推定されるほか、スマートフォン市場でもハイエンド品にこれまでのような勢いが見られないなど、主要最終製品需要に力強さを欠く状況が続きました。これを受け、半導体試験装置市場においては、能力増強を抑制する動きが非メモリ半導体メーカーを中心に昨夏より継続されました。

このような環境のもと、当社はメモリ半導体向けを中心に収益拡大に努めましたが、全体の落ち込みを補うまでには至らず、受注高は883億円(前年同期比7.8%減)、売上高は793億円(同18.5%減)となりました。利益面につきましては、売上高の減少に加えて、事業環境の変化を踏まえ棚卸資産評価損(40億円)、長期性資産の減損(135億円)を当第3四半期に計上したことで、営業損失は344億円、税引前四半期純損失は343億円、四半期純損失は341億円となりました。海外売上比率は90.4%(前年同期89.8%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位: 億円)

	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	724	562	△22.3%
売上高	738	515	△30.3%
営業利益	90	△270	—

当部門では、DRAM半導体やNANDフラッシュメモリ向けの生産能力増強投資が顧客各社で進行したことで、メモリ半導体用テストシステムの需要が伸長しました。非メモリ半導体用テストシステムは、需要の中核となるパソコンやハイエンド・スマートフォンに搭載される先端半導体の生産調整や在庫調整が生じたことで、厳しい状況が続きました。

以上により、当部門の受注高は562億円(前年同期比22.3%減)、売上高は515億円(同30.3%減)となりました。売上高の減少に加え、棚卸資産評価損(37億円)、長期性資産の減損(128億円)を当第3四半期に計上したことで、営業損失は270億円となりました。

＜メカトロニクス関連事業部門＞

(単位：億円)

	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	101	128	27.3%
売上高	107	100	△5.9%
営業利益	△31	△45	—

当部門では、ナノテクノロジー事業新製品への好調な引合いにより、受注高が伸長しました。顧客の需要時期の兼ね合いから、売上高は前年同期をやや下回りました。

以上により、当部門の受注高は128億円（前年同期比27.3%増）、売上高は100億円（同5.9%減）となりました。売上高の減少に加え、当第3四半期に棚卸資産評価損（1億円）、長期性資産の減損（7億円）を計上したことで、営業損失は45億円となりました。

＜サービス他部門＞

(単位：億円)

	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	140	195	38.6%
売上高	146	179	23.1%
営業利益	5	21	329.2%

当部門では、当年度より進めている、サービス事業の収益向上に向けた取り組みが順調に進捗したことで、前年同期比で増収増益となりました。

以上により、当部門の受注高は195億円（前年同期比38.6%増）、売上高は179億円（同23.1%増）、営業利益は21億円（同329.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前年度末比222億円減少し、2,033億円となりました。この主な要因は、売上債権および無形資産がそれぞれ144億円および125億円減少したことなどによります。負債合計は前年度末比12億円減少し、831億円となりました。また、株主資本は1,202億円となり、株主資本比率は前年度末比3.5ポイント減少し、59.1%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より35億円減少し、421億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失（△341億円）を計上しましたが、売上債権の減少（157億円）および減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、2億円の支出（前年同期は、33億円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、49億円の支出（前年同期は、96億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の購入（△51億円）、子会社買収による支出（△13億円）および売却可能有価証券の売却による収入（14億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億円の支出（前年同期は、30億円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払（△34億円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートフォン向けを中心に半導体試験装置市場が事前の想定より大幅に縮小したこと、それに基づき棚卸資産の評価減および長期性資産の減損を当第 3 四半期に計上したことなどにより、通期の連結業績予想を、売上高 1,100 億円、営業損失 360 億円、当期純損失 359 億円へそれぞれ修正します。

当社は、この損益水準に鑑み、確実に利益を創出できる事業構造への転換に着手しました。具体的には、採用抑制によるグループ人員のスリム化、基幹情報システムのグローバル統合に伴う業務効率化、事業所統廃合、製品原価率改善などを進めます。これらコスト削減施策により、売上高損益分岐点の引下げを図ります。並行して、経営資源を不採算事業から注力分野や成長市場へ機動的に移すことで、半導体試験装置市場、半導体試験装置周辺市場、新規事業の収益基盤を一層強化します。

今後の市場環境につきましては、メモリ半導体の生産能力増強投資が活発であるほか、先端半導体の生産が今春以降増加すると想定されることから、2014 年の半導体試験装置市場は 2 年ぶりのプラス成長となると見込んでいます。これらの業界動向および全社的な経費節減策の進捗を踏まえ、現時点では、来期の増収および黒字転換を予想しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 3 四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更

2012 年 7 月に、米国財務会計基準審議会は、非償却性無形資産の減損テストに関する基準を改訂しました。当該基準では、企業が実施する非償却性無形資産の減損テストにおいて、非償却性無形資産の公正価値を算定する前に、定性的要因を評価することが認められ、企業は非償却性無形資産の公正価値が帳簿価額を下回るという確率が 50%超であると判断した場合を除き、非償却性無形資産の公正価値を算定する必要はありません。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテスト）は、2013 年 4 月 1 日に開始する第 1 四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

2013 年 2 月に、米国財務会計基準審議会は、その他の包括利益累計額からの組替調整額の表示に対する修正の基準を改訂しました。当該基準では、その他の包括利益累計額からの組替調整額をその構成要素ごとに開示することを要求しております。アドバンテストは、2013 年 4 月 1 日に開始する第 1 四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	45,668	42,121
売上債権（貸倒引当金控除後）	26,953	12,504
棚卸資産	31,849	32,914
その他の流動資産	8,319	8,321
流動資産合計	112,789	95,860
投資有価証券	5,923	5,040
有形固定資産（純額）	41,368	40,938
無形資産（純額）	15,833	3,344
のれん	41,670	47,800
その他の資産	7,932	10,316
資産合計	225,515	203,298

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
買掛金	10,380	11,300
未払費用	7,910	6,893
未払法人税等	1,436	909
製品保証引当金	1,889	1,675
前受金	3,198	3,110
その他の流動負債	3,087	2,664
流動負債合計	27,900	26,551
社債	25,000	25,000
未払退職および年金費用	26,785	28,243
その他の固定負債	4,589	3,273
負債合計	84,274	83,067
契約債務および偶発債務		
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	42,801	43,492
利益剰余金	170,626	132,133
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 6,929	8,326
自己株式	△ 97,620	△ 96,083
資本合計	141,241	120,231
負債および資本合計	225,515	203,298

(2) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)
売上高	97,186	79,251
売上原価	46,049	45,913
売上総利益	51,137	33,338
研究開発費	24,200	25,294
販売費および一般管理費	26,113	29,380
減損費用	—	13,068
営業利益 (△損失)	824	△ 34,404
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	159	169
支払利息	△ 97	△ 104
投資有価証券売却益	—	778
その他	△ 778	△ 760
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 716	83
税引前四半期純利益 (△損失)	108	△ 34,321
法人税等	2,059	△ 171
持分法投資利益	34	2
四半期純利益 (△損失)	△ 1,917	△ 34,148

(単位：円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 11.05	△ 196.12
希薄化後	△ 11.05	△ 196.12

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)
売上高	24,628	19,613
売上原価	11,551	15,120
売上総利益	13,077	4,493
研究開発費	7,526	7,886
販売費および一般管理費	8,096	9,949
減損費用	—	13,068
営業利益 (△損失)	△ 2,545	△ 26,410
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	68	69
支払利息	△ 37	△ 34
投資有価証券売却益	—	202
その他	△ 495	△ 761
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 464	△ 524
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 3,009	△ 26,934
法人税等	431	△ 2,125
持分法投資利益	4	0
四半期純利益 (△損失)	△ 3,436	△ 24,809

(単位：円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 19.80	△ 142.42
希薄化後	△ 19.80	△ 142.42

(3) 四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 1,917	△ 34,148
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	7,345	15,147
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 605	209
控除 純実現損益の再分類調整	251	△ 503
純未実現損益	△ 354	△ 294
年金債務調整	384	402
その他の包括利益合計	7,375	15,255
四半期包括利益 (△損失)	5,458	△ 18,893

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 3,436	△ 24,809
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	13,201	9,428
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	208	133
控除 純実現損益の再分類調整	—	△ 131
純未実現損益	208	2
年金債務調整	△ 23	31
その他の包括利益合計	13,386	9,461
四半期包括利益 (△損失)	9,950	△ 15,348

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	△ 1,917	△ 34,148
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	5,828	6,831
繰延法人税等	△ 449	△ 2,048
ストック・オプションによる報酬費用	581	870
減損費用	—	13,495
売上債権の増減(△増加)	2,201	15,651
棚卸資産の増減(△増加)	△ 3,980	311
買掛金の増減(△減少)	△ 4,624	△ 79
未払費用の増減(△減少)	△ 5,296	△ 1,310
未払法人税等の増減(△減少)	1,639	△ 631
製品保証引当金の増減(△減少)	△ 224	△ 269
前受金の増減(△減少)	76	△ 662
未払退職および年金費用の増減(△減少)	952	1,207
その他	1,877	615
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 3,336	△ 167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能有価証券の売却による収入	—	1,418
子会社買収額(取得現金控除後)	—	△ 1,272
有形固定資産の売却による収入	30	370
有形固定資産の購入額	△ 9,527	△ 5,096
無形資産の購入額	△ 323	△ 648
その他	201	280
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 9,619	△ 4,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増加(△減少)	△ 25,000	—
社債発行による調達	25,000	—
配当金の支払額	△ 3,356	△ 3,369
その他	334	501
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 3,022	△ 2,868
現金および現金同等物に係る換算差額	1,369	4,436
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△ 14,608	△ 3,547
現金および現金同等物の期首残高	58,218	45,668
現金および現金同等物の四半期末残高	43,610	42,121

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

単位：百万円

前第3四半期連結累計期間

(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	72,505	10,122	14,559	-	97,186
セグメント間の内部売上高	1,283	543	-	△ 1,826	-
売上高	73,788	10,665	14,559	△ 1,826	97,186
調整前営業利益 (△損失)	9,027	△ 3,135	488	△ 4,975	1,405
(調整) ストック・オプション費用					581
営業利益 (△損失)					824

単位：百万円

当第3四半期連結累計期間

(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	51,299	10,031	17,921	-	79,251
セグメント間の内部売上高	161	8	-	△ 169	-
売上高	51,460	10,039	17,921	△ 169	79,251
調整前営業利益 (△損失)	△ 26,960	△ 4,530	2,095	△ 4,139	△ 33,534
(調整) ストック・オプション費用					870
営業利益 (△損失)					△ 34,404

単位：百万円

	前第3四半期連結会計期間				合計
	(自 2012年10月1日 至 2012年12月31日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	17,229	2,491	4,908	-	24,628
セグメント間の内部売上高	121	-	-	△ 121	-
売上高	17,350	2,491	4,908	△ 121	24,628
調整前営業利益 (△損失)	17	△ 1,179	234	△ 1,327	△ 2,255
(調整) ストック・オプション費用					290
営業利益 (△損失)					△ 2,545

単位：百万円

	当第3四半期連結会計期間				合計
	(自 2013年10月1日 至 2013年12月31日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	10,086	3,244	6,283	-	19,613
セグメント間の内部売上高	70	8	-	△ 78	-
売上高	10,156	3,252	6,283	△ 78	19,613
調整前営業利益 (△損失)	△ 23,175	△ 2,042	923	△ 1,684	△ 25,978
(調整) ストック・オプション費用					432
営業利益 (△損失)					△ 26,410

- (注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2013年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位: 億円)

	2012年度 実績	2013年度実績						2013年度業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
受注高	1,257	395	214	274	28.2%	883	Δ7.8%	317	1,200	Δ4.6%
受注残	164	258	177	255	44.3%	255	14.6%	264	264	60.8%

2. 損益

(単位: 億円)

	2012年度 実績	2013年度実績						2013年度業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
売上高	1,329	301	295	197	Δ33.6%	793	Δ18.5%	307	1,100	Δ17.2%
売上原価	640	148	160	152	Δ5.5%	460	Δ0.3%	-	-	-
研究開発費	331	87	87	79	Δ9.2%	253	4.5%	-	-	-
販売費および一般管理費	357	99	95	99	4.2%	293	12.5%	-	-	-
減損費用	-	-	-	131	-	131	-	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	1 (0.1%)	Δ33 (Δ11.0%)	Δ47 (Δ15.8%)	Δ264 (Δ134.7%)	-	Δ344 (Δ43.4%)	-	Δ16 (Δ5.2%)	Δ360 (Δ32.7%)	-
営業外損益	Δ14	5	1	Δ5	-	1	-	-	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	Δ13 (Δ1.0%)	Δ28 (Δ9.5%)	Δ46 (Δ15.4%)	Δ269 (Δ137.3%)	-	Δ343 (Δ43.3%)	-	Δ16 (Δ5.1%)	Δ359 (Δ32.6%)	-
法人税等	25	8	11	Δ21	-	Δ2	-	-	-	-
当期純利益 (売上高比率)	Δ38 (Δ2.9%)	Δ36 (Δ12.1%)	Δ57 (Δ19.3%)	Δ248 (Δ126.5%)	-	Δ341 (Δ43.1%)	-	Δ18 (Δ5.7%)	Δ359 (Δ32.6%)	-

(注)2013年度業績予想欄の上段は、2013年9月25日公表時の予想であり、下段は今回の予想です。

詳細につきましては、本日公表しました「通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 財政状態

(単位: 億円)

	2012年度 実績	2013年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,255	2,306	2,220	2,033	Δ8.4%
株主資本	1,412	1,426	1,369	1,202	Δ12.2%
株主資本比率	62.6%	61.8%	61.7%	59.1%	-

4. 配当の状況

(単位: 円)

(基準日)	2012年度			2013年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	10.00	5.00	15.00

(注)最近の業績動向を踏まえ、期末配当予想を上記のとおり修正しました。

詳細につきましては、本日公表しました「通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。